

解答

一 問一 三太が茶の間には上がらず、土間でもじもじして、なんだか様子がおかしいから。

- 問二 イ
- 問三 カ
- 問四 イ
- 問五 イ
- 問六 エ
- 問七 D
- 問八 A エ B ウ

二

- 問一 ウ
- 問二 畳の部屋で
- 問三 ーウ 2 イ
- 問四 北ヨーロッパ…冬の凍てつくような寒さをさけるため。  
日本…湿度や虫やネズミをさけるため。
- 問五 きましました。
- 問六 ー日本人 2 テーブルに肘をつく 3 かならずテーブルが必要
- 問七 碗と箸を手くっておこなう

三

- 問一 (1) ピイヒヨロ ピイヒヨロと笛を吹き (2) イ
- 問二 子供たちが北風の中、元氣いっぱい楽しく遊んでいる様子。
- 問三 ア
- 問四 夕焼けくぼうね
- 問五 (子供たちは) 北風と遊ぶ夢を見ているの(です)

四

- 1 四(苦) 八(苦) 2 千(変) 万(化) 3 七(転) 八(倒) 4 一(期) 一(会)
- 5 三(寒) 四(温)

五

- 1 意外 2 険 [しい] 3 検討 4 刻 [む] 5 腹心

解説

一

問一 ——線①の前に着目すると、勇気が三太に、茶の間にかかるように言っても、土間でもじもじしていて様子がおかしいことが述べられているので、それらの内容をわかりやすくまとめます。

問六 少し前にある「ここは考えどころだぞ、」で始まる段落に、勇気が悩んでいる理由が書き表されています。清一さんはなにか考えがあつて三太からクリスマスMASの情報を遠ざけていたのかもしれないという内容から、「清一がクリスマスはどう考えているか分からない」という記述を含む、選択肢エが選べます。

二

問四 「北ヨーロッパの住居」を含む一文に「冬は凍てつく大地の上に建てられた」という記述があるので、その部分をわかりやすく書き表します。また、「高温多湿な」以降の部分から、穀物の保存に苦労が多く、湿度、

虫やネズミたちとの戦いのなかで、高床式の穀物倉庫が生み出されたことがわかるので、それらの内容を説明します。

本文中から畳について述べているところを探します。「畳はときには」で始まる段落に、鎌倉時代から室町時代の説明があるので、「きました。」の直後に入れると、後の時代の畳についての説明として、ふさわしいことがわかります。

三

問一 (1) ——線①にある「にぎやかな」という記述に着目すると、五行目に北風が吹くたびに高い音がする様子が「パイヒヨロ　パイヒヨロと笛を吹き」と表現されていることがわかります。

(2) 「パイヒヨロ」は、物、音などをまねた擬声語です。また、「笛を吹き」は北風を人に見立てて表現している擬人法です。そのため選択肢イが選べます。

問三 ——線③の直前にある「北風が笛を吹けば吹くほど　子供たちの数は増えてゆく」の部分から「子供たちがどんどん現れてくる」という記述を含む選択肢アが選べます。